



## 未来の「しあわせ」を支える力 それが「ふくし」を学ぶ高校生

「福祉」には、「しあわせ」という意味が含まれています。子供から高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、すべての人が「しあわせ」な日常生活を送れることが、「福祉」の目指すところです。

高校「福祉科」の生徒たちは、この「しあわせ」を支える仕事に将来就きたいという思いで、日々学んでいます。

卒業後は、介護福祉士として活躍したり、進学して社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を目指す生徒もいます。いずれの生徒たちも、地域で暮らす人々の「しあわせ」を支える一員として、活躍してくれるでしょう。

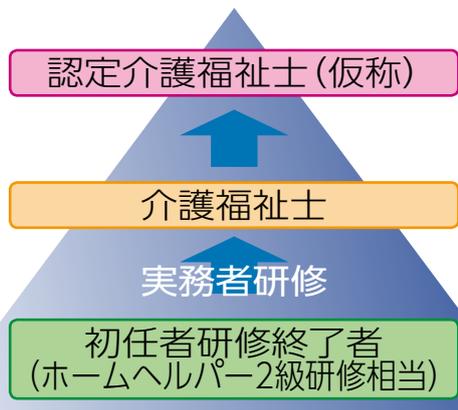
地域になくてはならない存在、地域の未来を支える福祉の「たまご」たちです。

### 高校生介護技術コンテスト全国大会



高校生介護技術コンテスト 全国大会  
利用者理解や対人援助の基本的な知識・技術等を競い、全国の福祉を学ぶ高校生の交流を目的としています。

### 介護人材のキャリアパス



## 授業風景



介護総合演習

介護活動から得た事例の考察などに取り組みます。



社会福祉基礎

社会福祉に関する基礎知識や福祉の理念を学びます。



生活支援技術

介護に関する知識と技術を学びます(医療的ケア)。



介護実習

学校の学びを実際の介護現場で体験します。



生活支援技術

介護現場で支援できる力を身につけます。



生活支援技術

タブレット端末を活用し介護技術・知識の修得をします。

## 卒業生からのメッセージ



特別養護老人ホーム「山翠園」  
介護福祉士  
白水 里紗さん  
(福岡県立久留米筑水高等学校  
社会福祉科 平成22年度卒業)

介護福祉士は、私の憧れの職業でした。私は、中学校卒業時、迷わず社会福祉科を選びました。

社会福祉科での3年間の思い出は、介護実習と介護福祉士国家試験。本当に頑張りました。その支えは、福祉を学ぶクラスの仲間存在でした。

就職し、初めて夜勤をしたとき、「家に帰りたい」と言われる認知症の方のケアに悩みました。何もできず、寄り添っているだけの私の手を握りながら安心した様子で眠られたとき、思わず涙がこぼれました。就職して3年が過ぎた今、高校時代に学んだ「尊厳を支えるケア」の大切さを改めて感じています。これからも、介護福祉士として、高齢者の方が、その人らしく生活できることを支え続けようと思います。

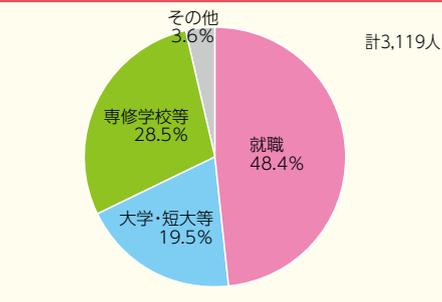


愛知県立海翔高等学校教諭  
高木 諒さん  
(愛知県立古知野高等学校  
福祉科 平成19年度卒業)

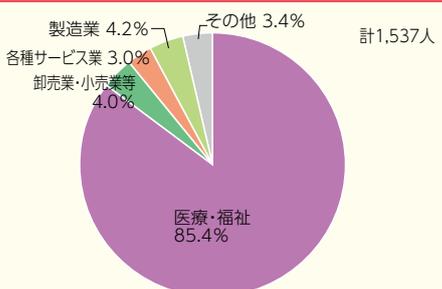
高校時代の担任の先生は、生徒をとても大切に、一人一人と丁寧に向き合ってくださいました。その姿に憧れた私は、福祉科の教員となり、福祉に関する知識や技術を生徒に指導するとともに、人を思いやる心の育成に努めています。介護実習等の学習に悩む生徒に助言をすることもありますが、自分の経験を交えて話をすると、高校時代、私自身も同様に悩んだことが思い出されます。そして、あのときクラスメイトと励まし合い、支え合った経験が、今に生きていることを実感します。

これからの超高齢社会では、どの分野でも福祉の心をもつ人材が必要です。中学生の皆さん、私たちと一緒に高校で福祉を学び、地域や社会に貢献できる人間へと成長していきましょう。

## 卒業後の進路



## 就職者の業種別内訳



文部科学省「学校基本調査」(平成28年3月卒業業者)から作成。

## 在校生が目指す主な資格等

- **介護福祉士**：利用者の状態に応じた介護や他職種との連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を修得し、的確な介護を実践する国家資格
- **介護福祉士実務者研修**：基本的な介護が提供できる能力、制度改正や新たな課題や技術・知見等を自ら把握できる能力の習得を目的とする研修
- **介護職員初任者研修**：利用者の理解や対人援助の基本的な視点と理念、職務の基本姿勢、基本的な知識・技術等の習得を目的とする研修